

## 河道改修等の状況

---

令和7年6月20日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

(水防連絡会 編)

■ 河道改修等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

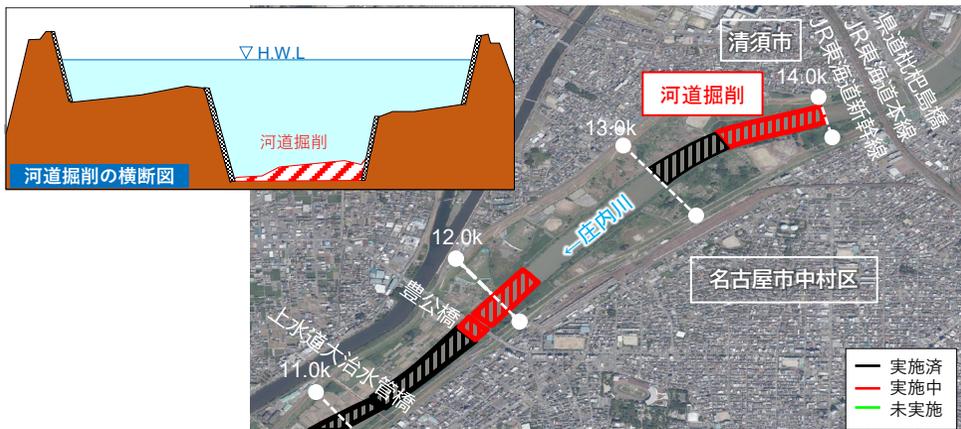
# 河道改修等の状況

---

# 河道改修等の状況

## 河道掘削（日比津地区）

庄内川下流部の日比津地区（河口から10.0～13.0k付近）では、平成12年9月洪水（東海豪雨）規模の洪水が流下した時に水位が上昇し、安全に流すことが出来ないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための河道掘削を実施。



## 堤防整備（小田井地区）

小田井遊水地（河口から右岸16.0～17.6k付近）では、周囲堤の高さや幅が不足しており、洪水貯留時に安全性が不足しているため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための周囲堤整備を実施。



## 河道掘削（大野木地区）

庄内川下流部の大野木地区（河口から右岸17.8～19.0k付近）では、堤防の高さや幅が不足しており、洪水を安全に流すことができないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防整備を実施。



## 堤防整備（上条地区）

庄内川中流部の上条地区（河口から右岸29.0～30.6k付近）では、堤防の幅が不足しているとともに、浸透に対する安全性が不足しており、洪水を安全に流すことができないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防強化（浸透対策）を実施。



# 河道改修等の状況

## 庄内川特定構造物改築事業

### ◇位置図



庄内川下流部の枇杷島地区（河口から14k付近）は、川幅が狭い狭窄部であるとともに桁下高が低く橋脚の間隔が狭い橋梁が連続して横河しており、洪水の流下に大きな支障が生じている。特に、平成12年9月東海豪雨では、県道枇杷島橋の桁下に洪水が衝突するなど危険な状況であった。このため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るため、「特定構造物改築事業」により、引堤及びそれに伴う3橋梁の架替を実施中。

### ◇事業箇所



### ◇東海豪雨時の状況



— 実施済  
— 実施中  
— 未実施

架替工事中の県道枇杷島橋は、仮設の橋梁が完成し、交通切り替えが令和5年11月に完了。現在、旧橋（元々の県道枇杷島橋）の撤去工事を実施中。また、県道枇杷島橋の架替工事の進捗に伴って取り付け道路の施工を行い、これまで最も低かった右岸堤防を令和6年6月に嵩上げ。



## 河道掘削（月見地区）

庄内川上流部の月見地区（河口から46.3～47.2k付近）では、平成元年9月洪水規模の洪水が流下した時に水位が上昇し、安全に流すことが出来ないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための河道掘削・河道拡幅を実施。河道拡幅にあたっては、環境や景観の保全に着目しながら設計している。

